

二管弦楽団、イェーナ交響楽団（独）、ルーマニア国立ジョルジュ・エネスコ交響楽団といったオーケストラとの共演や本格的なコンサートからエンターテインメント性の高い企画まで、幅広く活動。2014年にファーストCD「Joie de Duo」（連弾の喜び）をリリース。2016年より飲み放題のワインと共に音楽を楽しむコンサートシリーズIn Vino Musica、2018年より海外アーティストを招聘・共演するLe Vent de Suisseシリーズを主催。「A&Kアーツマネジメント」名でYoutubeチャンネルも開設中。2021年6月にセカンドCD「カレイドスコープ」を全国リリース。レコード芸術準特選盤に選出されている。

Duo A&K YouTubeチャンネル



Duo A&K公式HP



LIVE SERIES SOUND WAVE VOL.16

堀部一寿ソロライブ 2025如月

～オペラアリアとピアノ連弾の愉しみ～

2025年2月16日(日)

14:00開場 14:30開演



DUO A&K
(生田敦子・生田恵子)
(ピアノ)



堀部 一寿
(歌・リコーダー)

会場：ピアッツァ・アルテ（つくば市天久保3-6-6-104）
ご予約・お問合せ先：horibe3721@gmail.com（堀部一寿）

Live series sound wave vol.16

プログラム

本日は、「堀部一寿ソロライブ2025如月」にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

12月のライブから2ヶ月という間でのステージとなりますが、前回に引き続いてお越しいただきました皆様には、本当に感謝致します。

今回のゲストお二人と共演するのは初めてですが、連弾のコンサートを聴かせていただき、その素晴らしさに魅了され、ぜひつくばにもお越しいただきたいという思いから実現しました。

私も、普段のステージとは違った内容での選曲をしましたので、しっかりと気を引き締めて今日を迎えました。

皆さんに、オペラとピアノ連弾の魅力が伝わると嬉しいです。

最後まで、ゆったりとお楽しみいただけましたら幸いです。

第1部

1. 歌劇「椿姫」～ジェロモンのアリア「プロヴァンスの海と陸」
La traviata ~Di Provenza il mar 作曲：G. Verdi
2. カノン Canon in D 作曲：J.Pachelbel
3. ハンガリー舞曲 第5番
Hungarian Dances No. 5 作曲：J. Brahms
4. ハンガリー舞曲 第6番
Hungarian Dances No. 6 作曲：J. Brahms
5. 歌劇「オテロ」～イヤーゴの信条「無慈悲な神の命ずるままに」
Otello ~ Credo in Dio crudel 作曲：G. Verdi

2005年IBLA国際コンクール（伊）ピアノデュオ部門第2位及びラフマニノフ特別賞受賞。2011年チマローザ国際ピアノコンクール（伊）第3位及びチマローザ賞受賞。これまでにソリストとして神奈川フィル、イエーナ交響楽団（独）、ルーマニア国立ジョルジュ・エネスク交響楽団と共演の他、欧米豪各地の音楽祭やコンサートシリーズに出演。室内楽においてもN響、東フィル、ルツェルン祝祭管弦楽団、チューリッヒ室内管弦楽団、バーゼル交響楽団、キール市交響楽団等のソロ奏者らと数多く共演している。ベートン音楽コンクール、かわさきピアノコンクール、日本クラシック音楽コンクール、にじいろピアノコンクール審査員。

生田恵子

神奈川学生音楽コンクール総合第3位。PTNAピアノコンペティションE級、F級奨励賞、同シニア部門第1位。東京学芸大学音楽教育課修士課程修了。日欧文化協会オーディション合格。同演奏会（フレッシュコンサート）出演。スイス、チューリッヒ芸術大学留学後、室内楽を専攻。2005年イブラ国際コンクール（伊）ピアノデュオ部門第2位及びラフマニノフ特別賞受賞。フォントーベル財団奨学金を得てジュネーヴ高等音楽院進学。ピアノデュオ課程にてG. M. カイア氏に師事、その他各種講習会にてコンスタンティン・シェルバコフ、及びパスカル・ロジェ他各氏の下で研鑽を積む。これまでに神奈川フィルハーモニー管弦楽団およびルーマニア国立ジョルジュ・エネスクフィルハーモニー管弦楽団と共演。ニーダーザクセン・ノルトホルン音楽祭、エンガディン音楽祭、フラウエンフェルト音楽祭、大倉山水曜コンサートに出演。ベートン音楽コンクール、日本クラシック音楽コンクール、にじいろピアノコンクール審査員。

Duo A&K

生田敦子・恵子姉妹によるピアノデュオ。2003年スイス・エンガディン音楽祭におけるラフマニノフの連弾曲の演奏が好評を博し、チューリッヒ芸術大学教授コンスタンティン・シェルバコフ氏の推薦でピアノデュオを正式結成。イブラ国際コンクールでの入賞、ラフマニノフ特別賞受賞をきっかけに活動基盤が広がり、ジュネーヴ高等音楽院にてギー・ミシェル・カイア氏の下で正規のピアノデュオとして研鑽を積む。神奈川フィルハーモ

出演者プロフィール

堀部 一寿（歌・リコーダー）

東京都新宿区で生まれ育つ。

声楽を、西義一、沢木和彦、F.アルパネーゼ、B.ダルモンテ、M.アルジエントの各氏に、リコーダーを、吉沢実氏に師事。

東京コンセルヴァトアール尚美教育科及び研究科（声楽専攻）卒業。

在学中、茨城オペラ研究会の「魔笛」公演にザラストロ役でオペラデビュー。

尚美リコーダーオーケストラに所属し、全日本リコーダーコンクールアンサンブル部門において最優秀賞を収める。

卒業後、非常勤での小中学校の教員、1年間のイタリア留学を経て、茨城県つくば市に「ピアツァ・アルテ音楽教室」を開校。

また、全く新しいタイプの整体と音楽のコラボ企画「癒しのコンサート」、オンライン配信付きのライブなど独自の活動を展開し、好評を得ている。

現在は、リアルとオンラインでの声楽、ヴォイストレーニングの個人指導の他、クラシックからポピュラー、ゴスペル、シャンソン、童謡など様々なジャンルの6つの合唱団、4つのリコーダーアンサンブルの指導を行っている。

整体師、音声心理士としても活動を行っている。

2024年7月、初の書籍「ボイトレ あなたの世界をハッピーにする最高のツール: 感情をエネルギーに」を発売。

生田敦子（ピアノ）

ボストン生まれ。PTNAピアノコンペティションE、F級各金賞。フェリス女学院高校、早稲田大学卒業後、リーター財団奨学金を受け、チューリッヒ芸術大学留学、コンスタンティン・シェルバコフ氏に師事。引き続きフォントーベル財団奨学金を得てジュネーヴ高等音楽院にて演奏家修士課程修了。その他、各種講習会等にて、アレクサンダー・イエンナー、パウル・バドゥラ・スコダ、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、パスカル・ロジェ他各氏の下で研鑽を積む。2000年ABC新人オーディション合格。

～ 休憩(15分) ～

第2部

1. 歌劇「フィガロの結婚」～序曲 作曲：W. A. Mozart
Le Nozze di Figaro ~Overture
2. 歌劇「フィガロの結婚」 作曲：W. A. Mozart
～フィガロのアリア「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」
Le Nozze di Figaro ~Non più andrai, farfallone amoroso
3. 動物の謝肉祭 より 白鳥&フィナーレ
The Swan~Finale from "The Carnival of the Animals"
作曲：C.C.Saint-Saëns
4. パガニーニ主題による狂詩曲 より 第18変奏
Rhapsody on a Theme of Paganini, Op.43 18th Variation
作曲：S.Rachmaninov
5. リベルタンゴ Libertango 作曲：A.Piazzolla
6. 歌劇「カルメン」～ジプシーの歌 作曲：G. Bizet
Carmen ~ Les tringles des sistres tintaient
7. 歌劇「カルメン」～エスカミーリョのアリア「闘牛士の歌」
Carmen ~ Couplets du toréador 作曲：G. Bizet

歌劇「椿姫」～ジェロモンのアリア 「プロヴァンスの海と陸」

あわれわが子よ、すぎ去りし日は、夢と忘れて、帰れわが家へ
傷つき疲れ 悩む時こそ、帰りて憩え、故郷の家、
思いおこせよ 村の小川に、小鮎追いし かの幼き日を
その思い出に すべてを忘れ、帰れや我が子よ、わが家へ。

年長いし母 一人淋しく、そなたの帰り ただ待ち暮す、
遥かなる子に 思いをはせて 母の心は うれい悲しむ、
その母の胸に 今ぞ帰れ、悲しみはすべて 過ぎし夢ぞ
帰れわが子よ 故郷の家 いざ共に帰れよ、わが家へ

あゝ、共に帰れわが家へ 汝が母に帰れ

歌劇「オテロ」～イヤーゴの信条 「無慈悲な神の命ずるままに」

行け、貴様の目標は俺にはもう見えている
貴様は駆り立てられているのだ 貴様の悪魔にな
この俺こそが貴様の悪魔だ
そしてこの俺は動かされている 俺の信じる無慈悲な神に

俺は信じる 俺を造り給うた無慈悲な神を
ご自分の姿に似せて、俺は怒りに満ちてその名を呼ぶ

いやしき胚より あるいは下劣な原子から 俺は生まれたのだ
俺は悪漢なのだ なぜなら人間だからだ
それに俺は元の泥が体の中にあるのを感じる
そうだ！これが俺の信条なのだ！

俺は堅い心で信じているぞ その信仰は
未亡人が教会で信じているほど堅固だ
俺が考え付く悪事は 実行する悪事は
俺の運命を成就するためのもの

俺は信じる、正直者など嘲笑すべきピエロだとその顔もその心
も そいつのすべてがただのペテンだ
涙も くちづけも まなざしも 犠牲も名誉もだ

そして信じる 人間はみな邪悪な運命の玩具だと
揺りかごの萌芽から
墓場の蛆虫に至るまで

激しい嘲笑のあとには死神がやってくる
そして、何が？死は無だ
天国など古臭い昔の物語さ

歌劇「フィガロの結婚」～フィガロのアリア 「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」

もう飛ぶまいぞこの蝶々 夜も昼も休まず
花のこころ騒がす 罪作りの蝶々

羽も取り上げられた 伊達な帽子もないぞ
髪も長く為まいぞ 紅もさすことならぬ
羽根はならぬぞよ 帽子も 粋な身なりはならぬ

もう飛ぶまいぞこの蝶々 夜も昼も休まず
花のこころ騒がす 罪作りの蝶々

もう軍人だぞ 口髭生やして 鉄砲かついで
サーベル片手に姿勢を正しく すこし大人ぶって
大人ぶって 大人ぶって

踊りのかわりに 泥の中を進軍

野山を踏み分け 雪の日も 雨の日も
ラッパや 大砲の音が 耳をばつんざく
いくさに出るからは 羽根はならぬぞよ
帽子もならぬぞ 髪も短く 粋な身なりはならぬ

もう飛ぶまいぞこの蝶々 夜も昼も休まず
花のこころ騒がす 罪作りの蝶々

ケルビーノさらばよ 勇ましく行け
勇ましく行け 勇ましく行け